

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【求人充足対策】

求人充足会議を毎月2回開催し、充足計画策定求人や、その他未充足である有効中の求人（原則、正社員求人）を対象に、事業所を訪問して就業場所などの見学や福利厚生についても聴取し、求人票の修正や画像情報を加え、当所エントランスに掲示しました。また、求人充足会議で選定された求人事業所のうち、1事業所を対象として、企業支援部門と職業紹介担当部門各1名ずつのチームを結成して企業のPRや有益な情報を収集、他の職員に伝達。求職者へも情報提供し、充足を図る事業所担当者制を実施しました。なお、事業所訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり実績は伸ばせませんでしたでしたが、その他の取り組みについて実施しました。

充足計画策定求人について、条件緩和指導、詳細情報の収集、画像の収集（新規・追加・変更）、補足等を徹底し、紹介担当者から得られた求職者のニーズや疑問点、応募しなかった理由などの情報を求人者にも提供しました。

【新型コロナウイルス感染対策としてSNSでの情報発信】

新型コロナウイルス感染対策として、SNSでの情報発信に力を入れました。具体的には、①ハローワークに来所することを躊躇する求職者のために、動画による週刊求人情報をYouTube、Instagramで配信しました。②外国人が来所した際問い合わせの多い、雇用保険制度、日本における就職活動方法、育児休業給付について、管内最多のブラジル国籍の方を対象にしたポルトガル語による、ハローワーク窓口での求職者と職員との相談状況を再現した動画を配信しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で外国人の新規求職者が激増したため、事務室の密を避けるため、外国人の雇用保険失業認定及び職業相談ができるようにプレハブ庁舎を整備しました。

【主要指標の管理及び共有】

主要指標の進捗状況については、進捗状況管理表を作成し全職員に周知し、幹部会議で毎月、課題対応について指示しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【求人充足対策】

充足が困難な求人の中には、仕事の内容が不明瞭な点があり、求職者から見て分かりやすい内容となっていないことから、求人票の内容

の再点検と修正が必要と思われるものが散見されました。このような状況を踏まえ、職員が事業所を訪問または電話により、提出のあった求人の仕事内容を確認したうえで、修正助言・提案を実施しました。

【紹介率向上の取り組み】

紹介件数が9月以降、伸び悩んでいたため、11月より「紹介率UP」の取り組みとして、個々に紹介件数の目標を設定し、部門長によるアドバイス等を実施しました。また、12月以降も「紹介率UP」を所独自目標として取り組みを継続しました。

【ハローワークサービスメニューの周知強化及び執務室内の新型コロナウイルス感染対策】

待合スペースにデジタルサイネージを設置し、視覚によるハローワークのサービスメニューを周知しました。就職支援セミナー、ミニ面接会等の案内を放映することで、早期再就職の意欲喚起、来所者の待ち時間によるストレス軽減を図ることができました。

また、新型コロナウイルス感染対策として、所内掲示版及びデジタルサイネージ等を活用し、来所者へのマスク着用を促すとともに、マスク未着用来所者については、窓口においてマスクを配付し着用の協力を求めています。外国人については、説明会、認定日ともに別会場として密を避けるとともに、制度周知徹底のため通訳により伝達する内容について、強調する部分等を工夫しています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【一体的実施施設の連携強化】

令和2年度までは「豊田市女性テラス（カプチーノ）」の事業は市単独で行っていましたが、令和3年度から豊田市雇用対策協定を改正し豊田市就労支援室の一体的実施施設に組入れることで、女性活躍推進をより強化することとしました。これにより同一敷地内にある両施設の求人、求職者の取扱いについて統一し、スムーズな業務運営を図ることとしました（求人については、豊田市女性テラスではハローワーク受理求人は地方自治体提供内容に留まるため不明な事項を必要に応じ提供、求職者については両施設間で異なる登録様式の共通部分の利用に係る整理をしました。また、これまで市単独で実施していたセミナーの周知及び実施に係る業務について連携しました）。

【障害者の就職支援】

障害者の就職促進のため、地方自治体と連携し、職場実習制度の積極的活用を図り、企業訪問（特に0人企業）による雇用指導と併せ受け入れ企業の開拓や作業内容を始めとした受け入れ態勢の確保に努めました。

また、就労支援機関と連携し、マッチングの促進、定着支援に取り組みました。なお、障害者雇用を促進するための取り組みとして、雇用率未達成事業所に対して、豊田市長及びみよし市長と安定所長の連名による雇用要請文発送を実施しており、今後も必要に応じ、同様の取り組みを実施していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

【外国人の就労支援】

外国人求職者については、今後も新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、派遣労働者の解雇・雇い止め等による退職者の増加が予測されるため、地方自治体と連携した求人確保及び就労支援対策に取り組んでいきます。令和3年度においては、豊田所単独で2回、外国人ジョブガイダンス及び外国人就職面接会を開催し就職促進に努めました。

2 特記事項

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就 職件数	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数
令和3年度実績	2, 710	2, 375	1, 318	85. 5%	265	9, 168	1, 251	634	196
過去3年度平均	2, 830	2, 450	1, 451	89. 0%	202	9, 448	1, 376	606	179
R2年度実績	2, 540	2, 196	1, 613	84. 0%	202	7, 766	1, 143	621	206
対 R2 比	106%	108%	81%	101%	131%	118%	109%	102%	95%
R1年度実績	2, 853	2, 455	1, 443	86. 4%		9, 950	1, 371	607	199
対 R1 比	94%	96%	91%	98%		92%	91%	104%	98%
H30 年度実績	3, 097	2, 699	1, 298	96. 5%		10, 629	1, 614	591	131
対 H30 比	87%	87%	101%	88%		86%	77%	107%	149%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。